

施肥 有機質・土壌改良剤・化学肥料など（購入の場合はメーカー名記入）

<土づくりの使用資材・肥料について>

使用量はkg/10a

商品名	原料	メーカー(購入先)	全N%	化成N%	全P%	化成P%	全K%	化成K%	有機率(%)	使用目的	計画				実績			
											使用量	使用時期	回数	化成窒素kg	使用量	使用時期	回数	化成窒素kg
黒い腫	鶏ふん、豚糞、焼酎の搾りかす	(株)九州アグリ	2	0	4.5		1			圃場1元肥	150				150	7/30	1	0.0
かにかがら肥料	かにかがら等	(株)丸徳	3	0	2					圃場1元肥	100				100	7/30	1	0.0
ゴールデンホスカ	骨粉入りPKマグ	日東エフシー(株)	0	0	13		13			圃場1元肥	60				60	7/30	1	
ミネアルファ										圃場1元肥	80				80	7/30	1	
スーパーピオ545	骨粉質類、植物質類、動物脂肪粉末類、副産物植物質肥料、硫酸加里	九州交易(株)	5		4		5			追肥					80	9/5, 9/27	2	
植物活性酵素 アドバンスM	糖蜜 微生物発酵液肥	(株)ジンサポート									200L		月1~2回					
植物活性酵素 アドバンスC	カキガラ カルシウム発酵液肥	(株)ジンサポート																
植物活性酵素 アドバンスG	糖蜜 微生物発酵液肥	(株)ジンサポート																

【慣行農法との比較】

*化学肥料

窒素分で比較して 当地比 **5** 削減

化学肥料	窒素使用量 (kg/10a)
慣行使用量	35
計画使用量	17.5

*節減対象農薬

当地比 **5** 削減

節減対象農薬	使用回数	地域の慣行防除
土壌消毒剤		
除草剤		
殺虫剤	8	
殺菌剤		
その他薬剤		
合計	33	66

病虫害の防除 使用した天然防除資材・自作資材・農薬（成長調整剤、展着剤等を含む）

使用量/10a

分類	商品名	原料/成分名	メーカー(購入先)	使用目的	計画				実績				使用回数上限			
					希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	商品	成分
殺虫	ダントツ水溶剤	クロチアニジン	圃場1	床土殺虫	2000~4000	100~300L			1	2000~4000	100~300L	8/20	1	1	3	4
殺虫	アルバリン顆粒水溶剤	ジノテフラン	圃場1	殺虫	2000~3000	100~300L			1	2000	100~300L	8/12	1	1	2	5
殺虫	ディアナSC	スピネトラム	圃場1	殺虫	2500	100~300L			1	2500	100~300L	10/1	1	1	2	2
殺虫	ベストガード水溶剤	ニテンピラム	圃場1	殺虫	1000~2000	100~300L			1	1000~2000	100~300L	8/5, 8/28	2	2	3	4
殺虫	ウララDF	フロニカミド	圃場1	殺虫	2000~4000	100~300L			1	2000~4000	100~300L	9/5	1	1	3	3
殺虫	フーモン	ポリグリセリン脂肪酸エステル	圃場1	殺虫	1000	150~500L			1	1000	150~500L	9/20	1	1	-	-
殺虫	アニキ乳剤	レピメクチン	圃場1	殺虫	1000~2000	100~300L			1	1000~2000	100~300L	9/12	1	1	3	3
殺虫	アフファーム乳剤	エマメクチン安息香酸塩	圃場2,4,5	殺虫	2000	100~300L			1	2000	100~300L	8/26			5	5
殺虫	チェス水和剤	ピメトロジン	圃場2,4	殺虫	3000	150~300L			1	3000	150~300L	9/3			3	4
殺虫	コルト顆粒水和剤	ピリフルキナゾン	圃場4,5	殺虫	4000	100~300L			1	4000	100~300L	10/3			3	3

備考:

トータルの品質向上、棚持ちの向上等を目的に植物活性酵素を使用しています。又連作障害対策で、高濃度腐食酸肥料を全圃場に使用しています。

■とまと、ピーマンなどの果菜類は、栽培期間が長く、防除、施肥量が増えて5削減を守れない可能性がある為、概要になります。

2025/10/14 現在 1.4kg、8回

	計画(作業、施肥、防除など)	実績(作業)	実績(施肥)	実績(防除)
1月	収穫			
2月	収穫			
3月	収穫			
4月	収穫			
5月	収穫			
6月	収穫 ~6/下			
7月	耕起			
8月	定植	定植 8/初		
9月				
10月	収穫 10/初~			
11月	収穫			
12月	収穫			

耕起開始:	令和6年7月中旬
終了:	令和6年7月下旬
播種開始:	
終了:	
定植開始:	令和7年8月初旬
終了:	
収穫開始:	令和7年10月初旬
終了:	令和8年6月下旬